



加古だより

加古小学校通信
令和4年9月号
No.18 (291号)

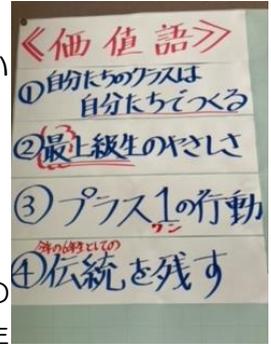
加古小学校の強みになった「上級生の優しさ」

校長 吉田 博明

<保護者から感謝の言葉>

先日、1年生の保護者の方とお話をする機会がありました。その中で、「加古小学校の6年生の人たちは本当に優しいですね。小さい子の重い荷物を持ってくれたり、手をつないでくれたりして、とっても助かっています。子どもも6年生の子たちのことが大好きでお友だちみたいに思っています。」と話してくださいました。

去年の6年生が、下級生をおんぶして登校したり、とても優しくしたりする場面をたくさん見て感心しました。卒業式で、「上級生の優しさを、加古小学校の伝統にします。」と話しましたが、今の6年生の教室に貼ってある目標には、「最上級生の優しさ」が掲げてあります。加古小学校の伝統として確実に引き継がれているんだな、とうれしくなります。



<さすが！臨機応変な対応にびっくり!?>

9月1日に始まった2学期。始業式は今回もZoomで行われました。そこで、まさかのトラブル！校歌を歌う場面で、急に画面から音声流れなくなったのです。いつもなら録音してあるピアノ伴奏が聞こえるところ。よくある機械トラブルとはいえ、みんなどうしようと思っていました。すると、歌詞がカラオケのように流れる画面を見ながら、1年生の人たちが歌い始めたのです。それを見ていた駒田先生がビックリ！臨機応変な対応に感心しきりでした。上記の「上級生の優しさ」や、この「臨機応変な対応」は、まさに「生きる力」だと思います。その場その場にふさわしい対応を、自分の頭で考え、行動する。今求められている、こんな力が育っている加古小学校のみなさんを頼もしく感じます。

<6年生親子ふれあい>

今までの「学年ふれあい」。今年度から名前を替えて「親子ふれあい」にしました。6年生の親子ふれあいは9月2日、150周年に向けた正門改修の取組として行われました。6年生のみなさんと保護者の方々に、きれいな壁画の色塗り。当日は少し風が強いものの



いい天気にも恵まれ、順調に作業が進みました。町長さんも来て、色塗りを手伝ってくださいました。神戸新聞も取材に来て、子どもたちにインタビューをしたり集合写真を撮ったりしていただきました。思っていた以上に美しく仕上がって、みんなとても満足！今から卒業式の後、写真を撮るのが楽しみです。本当にありがとうございました。